（参考）将来の年金見込額をご自分で試算できます。

※　記入の例は、リーフレットの6ページをご覧ください。

老齢基礎年金の見込額を計算します

これまでのあなた様の納付実績に、将来の見込みを記入して計算します。

◆これまでの加入実績に応じた年金額（※共済組合員期間除く）

保険料納付済月数

円　×　［　　月］／480月　＋　［　　月］　×　200円　＝　①［　　円］

※百円未満四捨五入

付加保険料納付済月数

◆今後加入する期間及び今までの共済組合員期間に基づく年金額

今後、60歳までの期間（月数）を記入

今までの共済組合員期間を記入（20歳～60歳までの期間）

円　×　［　　月］＋［　　月］／480月　＋　［　　月］　×　200円　＝　②［　　円］

※百円未満四捨五入

今後納付する付加保険料月数を記入

〔 基礎年金の見込額 〕

①　＋　②　＝　［　　円］

※百円未満四捨五入

〈保険料納付済月数〉

国民年金保険料を納付していただいた月数に厚生年金被保険者期間の月数と第3号被保険者期間（サラリーマン等の被扶養配偶者であった期間）の月数を加えた月数になります。

老齢厚生年金の見込額を計算します

これまでのあなた様の加入実績に、将来の見込みを記入して計算します。

◆これまでの加入実績に応じた年金額

平成15年3月までの平均の標準報酬月額（月給のみ）

［　　円］　×　生年月日に応じた給付乗率　/1,000　×　［　　月］　＋

平成15年4月から現在までの平均の標準報酬額（おおむね、月給＋賞与の1/12）

［　　円］　×　生年月日に応じた給付乗率　/1,000　×　［　　月］　＝　①［　　円］

◆今後、退職時まで勤務される期間及びその間に受けた給与・賞与に基づく年金額

平成15年4月から現在までの平均の標準報酬額（おおむね、月給＋賞与の1/12）を仮置

［　　円］　×　生年月日に応じた給付乗率　/1,000　×　［　　月］　＝　②［　　円］

今後、退職時まで勤務される期間（月数）を記入

今後、退職時までの間の平均の所得見込み額（おおむね、月給＋賞与の1/12の平均額）にご自身で置き換えて記入してください。
（注）置き換えていただく平均の所得見込み額は、標準報酬額と同様の上限、下限の限度額の範囲内の金額で計算してください。

〔 厚生年金の見込額 〕

①　＋　②　＝　［　　円］

※百円未満四捨五入

※この計算例においては、厚生年金の加入期間の増加が年金見込額の増加につながることを実感していただくため、厚生年金基金の加入期間も通常の厚生年金加入期間とみなして計算しています。

「ねんきん定期便」を毎年お届けいたします。

この「ねんきん定期便」は、あなた様のこれまでの年金加入期間やこれまでの加入実績に応じた年金額などの年金に関する情報を定期的にご確認いただき、年金制度に対するご理解を深めていただくことを目的としてお送りしております。

平成２１年度は、すべての被保険者の方に共済組合員記録にかかる情報を除いた、これまでの公的年金のすべての加入記録をお届けいたします。

平成22年度以降については、下記のとおり節目の年齢の方にすべての加入記録を、その他の年齢の方には、直近一年間の加入記録をお届けいたします。

- ３５歳・45歳・58歳の被保険者の方
  公的年金（共済以外）のすべての加入記録をお届けいたします。
- その他の年齢の被保険者の方
  直近一年間の加入記録をお届けいたします。